

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－加算配付用】

令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】実施報告書(選定校記載用)

(校園コード 701580)

※校園コードを入力してください。

学校名 茨田小学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

1 配付額 200,000 円 → 決算額 199,000 円

2 自校の現状・課題(※小・中学校においては、学力課題に限定)

「小学校学力経年調査における標準化得点を前年度より向上させる」目標について、4年と6年は9ポイント以上向上したが、5年生は2ポイント下がった。
「小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる」目標について、どの学年も達成できなかった。

3 年度目標(※小・中学校においては、学力向上の目標を記載すること)

・平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

目標に対する達成状況(取組完了時)

・平成31年度の小学校学力経年調査における算数の標準化得点を、同一母集団で比較したところ、向上した学年と、達成できなかった学年があった。

達成

B

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

発表や話し合い活動など多様な言語活動を取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」ができるように、基礎的な言語力の指導に努める。
基礎・基本を大切にした学力の向上に向けて、ぐんぐんタイムを設け、前学年で学習した内容が定着するように取り組む。

5 年度目標に応じた事業効果を測る指標(期待する効果等)

ペアやグループで交流する機会を授業で多く取り入れる。ぐんぐんタイムについては、確認テストなどで、低学年は8割以上、高学年は7割以上を目標に、学期ごとに実態を調査し、内容の定着を図る。

指標に対する達成状況(取組完了時)

確認テストなどで、低学年は8割以上、高学年は7割以上を目標を達成できた。

達成

B

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 年間スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続 寺子屋プリント活用								
効果検証	◎ ↑ 取組実施前単元テスト	◎ ↑ 活用開始、随時単元テスト			◎ ↑ 小学校学力経年調査			◎ ↑ 効果検証	

【裏面に続く⇒】

取組

1

(校 園 コー ド 701580)
学 校 名 茨 田 小 学 校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 基礎・基本を大切にした学力の向上に向けて、ぐんぐんタイムを設け、前学年で学習した内容が定着するように取り組む。	委員会使用欄	達成
		B
予算内訳 ・寺子屋プリント（算数）「かずみちゃん」の購入 ・ 11-1 @1,170×356=416,520円		
期待される効果 ペアやグループで交流する機会を授業で多く取り入れる。ぐんぐんタイムについては、確認テストなどで、低学年は8割以上、高学年は7割以上を目標に、学期ごとに実態を調査し、内容の定着を図る。		

(2) 取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	寺子屋プリントの活用								
効果検証	◎ 確認（単元）テスト ◎ 小学校学力経年調査								

(3) 取組内容に対する中間報告

- ☒ スケジュールどおり実施できている。
☐ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。（□他責・□自責）
 [大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

(4) 取組内容に対する決算内訳

決算内訳
 ・寺子屋プリント（算数）「かずみちゃん」プリント棚の購入
 ・ 11-1 199,000円

※取組内容はPDCAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。

